

平成 28 年度

名寄市公営企業会計
決算審査意見書

名寄市病院事業会計
名寄市水道事業会計

名寄市監査委員

名監査第 8 号
平成 29 年 8 月 30 日

名寄市長 加 藤 剛 士 様

名寄市監査委員 上 田 盛 一
名寄市監査委員 佐々木 寿

平成 28 年度名寄市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 28 年度名寄市公営企業会計決算について審査しましたので、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法及び範囲	1
第4	審査の結果	1

名寄市病院事業会計

1	事業概況	2
2	予算の執行状況	2
3	経営状況	4
4	むすび	6
5	資料	
	別表(1) 業務実績表	7
	別表(2) 比較損益計算書	9
	別表(3) 比較貸借対照表	11
	別表(4) 総収益・総費用比較表	14
	別表(5) 経営・財務分析表	15
	別表(6) キャッシュ・フロー計算書内訳	19
	別表(7) 医療費未収金	20
	別表(8) 医業収益に対する費用項目の比率	21

名寄市水道事業会計

1	事業概況	22
2	予算の執行状況	22
3	経営状況	23
4	むすび	26
5	資料	
	別表(1) 業務の概要	27
	別表(2) 比較損益計算書	28
	別表(3) 比較貸借対照表	29
	別表(4) 要素別費用比較表	31
	別表(5) 経営・財務分析表	32
	別表(6) キャッシュ・フロー計算書内訳	36

(注) 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりです。

- (1) 比率(%)：原則として、小数点以下第2位を四捨五入しています。
- (2) 「0.0」：「該当数値はあるが、0.05未満のもの」を表しています。
- (3) 「-」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表しています。
- (4) 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合があります。

第1 審査の対象

平成 28 年度 名寄市病院事業会計決算

平成 28 年度 名寄市水道事業会計決算

第2 審査の期間

平成 29 年 6 月 5 日から同年 8 月 22 日まで

第3 審査の方法及び範囲

決算審査に当たっては、審査に付された決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類が、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されているか、これらの決算諸表が各事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか確かめるとともに、会計帳簿、証拠書類及びその他関係書類を照合し、計数の審査を行い、併せて事業の経営成績及び財政状態を分析し、さらには予算の執行状況と事務処理の適否等について審査しました。

なお、現金預金及び関連する証書類については、地方自治法第 235 条の 2 の規定に基づき、別に例月現金出納検査時において実施しているので本審査の対象外としました。

第4 審査の結果

審査に付された各事業会計の決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認めました。また、諸計数は正確であり、予算の執行状況も適切であると認めました。

平成 28 年度名寄市病院事業会計

1 事業概況

平成 28 年度の名寄市病院事業会計のうち、市立総合病院の業務実績をみると、年間患者数は入院 101,963 人、外来 224,953 人、合計 326,916 人で、前年度に比べて入院・外来ともに減少し、合計で 3,180 人減少しています。1 日平均患者数は入院 279.3 人、外来 925.8 人となっており、病床利用率は 77.8% で前年度に比べて 0.2 ポイント減少していますが、患者 1 人 1 日当たりの医業収益は入院収益 55,720 円（対前年度比 105%）、外来収益 9,878 円（対前年度比 105.3%）となっています。

医業収益の総額は 84 億 1,719 万 2,245 円、医業費用の総額は 89 億 5,424 万 9,767 円となり、平成 28 年度の収支については、前年度と比べ 2,817 万 8,136 円減となる 1 億 9,403 万 851 円の純損失が生じています。（前年度純損失額 2 億 2,220 万 8,987 円）

一方、名寄東病院においては、年間患者数は入院 35,224 人、外来 4,018 人、合計 39,242 人で、前年度に比べて入院で 1,950 人減少したものの、外来は 399 人増となり、合計では 1,551 人減少しています。1 日平均患者数は入院 96.5 人、外来 16.5 人となっており、病床利用率は 91.9% で前年度に比べて 4.8 ポイント減少しています。患者 1 人 1 日当たりの医業収益は入院収益 14,738 円（対前年度比 92.7%）、外来収益 4,274 円（対前年度比 89.6%）となっており、医業収益の総額は 5 億 4,115 万 3,383 円、医業費用の総額は 6 億 2,997 万 652 円となり、平成 28 年度の収支については 534 万 856 円の純損失が生じています。（前年度純利益額 1,064 万 2,728 円）

2 予算の執行状況

(1) 市立総合病院

ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額は 91 億 9,971 万 8,421 円となっており、予算に対する執行率は 100.8% です。収益的支出の決算額は 93 億 9,065 万 2,187 円となっており、予算に対する執行率は 99.6% です。

収益的収支の差引額は△1 億 9,093 万 3,766 円となり、前年度（△2 億 1,910 万 8,573 円）と比べて 2,817 万 4,807 円増となっています。

【収益的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
医 業 収 益	8,403,098,000	8,427,505,816	24,407,816	100.3
医 業 外 収 益	688,472,000	734,118,619	45,646,619	106.6
特 別 利 益	38,093,000	38,093,986	986	100.0
合 計	9,129,663,000	9,199,718,421	70,055,421	100.8

【収益的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
医 業 費 用	9,165,796,000	9,130,152,668	35,643,332	99.6
医 業 外 費 用	217,011,000	216,465,467	545,533	99.7
特 別 損 失	47,804,000	44,034,052	3,769,948	92.1
合 計	9,430,611,000	9,390,652,187	39,958,813	99.6

イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額は7億9,426万2千円となっており、予算に対する執行率は95.4%です。資本的支出の決算額は11億5,717万8,605円となっており、予算に対する執行率は98.5%です。

資本的収支の不足額は3億6,291万6,605円であり、前年度（3億8,879万2,413円）と比べて2,587万5,808円（6.7%）減少しています。この不足額は、過年度分損益勘定留保資金で補填されています。

【資本的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
企 業 債	421,200,000	391,542,000	△29,658,000	93.0
寄 附 金	350,000	10,350,000	10,000,000	2,957.1
償 還 金	8,750,000	9,440,000	690,000	107.9
出 資 金	361,055,000	361,055,000	0	100.0
負 担 金	41,003,000	21,875,000	△19,128,000	53.3
道 補 助 金	0	0	0	—
国 庫 補 助 金	0	0	0	—
合 計	832,358,000	794,262,000	△38,096,000	95.4

【資本的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
建 設 改 良 費	432,662,000	415,541,745	17,120,255	96.0
償 還 金	696,487,000	696,486,860	140	100.0
投 資	45,240,000	45,150,000	90,000	99.8
合 計	1,174,389,000	1,157,178,605	17,210,395	98.5

(2) 東病院

ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額は6億3,836万3,521円となっており、予算に対する執行率は98.6%です。収益的支出の決算額は6億4,369万8,277円となっており、予算に対する執行率は99.4%です。

収益的収支の差引額は△533万4,756円となり、前年度（1,064万4,135円）と比べて1,597万8,891円減となっています。

【収益的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
医 業 収 益	550,488,000	541,538,179	△8,949,821	98.4
医 業 外 収 益	96,794,000	96,825,342	31,342	100.0
特 別 利 益	0	0	0	—
合 計	647,282,000	638,363,521	△8,918,479	98.6

【収益的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
医 業 費 用	646,362,000	642,691,131	3,670,869	99.4
医 業 外 費 用	920,000	1,007,146	△87,146	109.5
特 別 損 失	0	0	0	—
合 計	647,282,000	643,698,277	3,583,723	99.4

イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額は720万円となっており、予算に対する執行率は94.7%です。資本的支出の決算額は1,415万914円となっており、予算に対する執行率は97.2%です。

資本的収支の不足額は695万914円であり、この不足額は過年度分損益勘定留保資金で補填されています。

【資本的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
企 業 債	7,600,000	7,200,000	△400,000	94.7
寄 附 金	0	0	0	—
償 還 金	0	0	0	—
出 資 金	0	0	0	—
負 担 金	0	0	0	—
道 補 助 金	0	0	0	—
国 庫 補 助 金	0	0	0	—
合 計	7,600,000	7,200,000	△400,000	94.7

【資本的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
建 設 改 良 費	7,692,000	7,286,220	405,780	94.7
償 還 金	6,865,000	6,864,694	306	100.0
投 資	0	0	0	—
合 計	14,557,000	14,150,914	406,086	97.2

3 経営状況 【別表(2)(3)(4)、9～14ページ参照】

(1) 市立総合病院

ア 収 益

平成28年度の病院事業収益は、医業収益84億1,719万2,245円、医業外収益7億2,417万5,865円、特別利益3,785万5,544円、合計91億7,922万3,654円となっています。

医業収益は、入院収益56億8,133万9,177円、外来収益22億2,197万8,825円、他会計負担金3億5,402万2千円、その他医業収益1億5,985万2,243円となっており、病院事業収益全体の91.7%を占めています。

医業外収益は、他会計負担金3億9,982万4千円、負担金交付金8,354万7,358円、補助金7,723万1,400円、長期前受金戻入5,955万589円が主なものであり、病院事業収益全体の7.9%を占めています。

イ 費用

平成 28 年度の病院事業費用は、医業費用 89 億 5,424 万 9,767 円、医業外費用 3 億 7,527 万 8,686 円、特別損失 4,372 万 6,052 円、合計 93 億 7,325 万 4,505 円となっています。

医業費用は、給与費 51 億 8,785 万 3,009 円、材料費 23 億 69 万 2,693 円、経費 8 億 6,052 万 573 円、減価償却費 5 億 4,183 万 3,461 円が主なものであり、病院事業費用全体の 95.5%を占めています。

医業外費用は、雑支出 2 億 7,005 万 1,204 円が主なものであり、病院事業費用全体の 4.0%を占めています。

ウ 経営比率

比 率 名	算 式	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
経営資本医業利益率(%)	$\frac{\text{医業利益 } \Delta 537,057,522 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 10,684,586,079 \text{ 円}} \times 100$	△5.03	△6.26	△6.79
経営資本回転率(回)	$\frac{\text{医業収益 } 8,417,192,245 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 10,684,586,079 \text{ 円}}$	0.79	0.74	0.69
医業収益医業利益率(%)	$\frac{\text{医業利益 } \Delta 537,057,522 \text{ 円}}{\text{医業収益 } 8,417,192,245 \text{ 円}} \times 100$	△6.38	△8.48	△9.90

医業利益＝医業収益－医業費用

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

経営資本回転率は、高いほど良く、病院事業では 1.0 回転が平均となっています。

(2) 東病院

ア 収益

平成 28 年度の病院事業収益は、医業収益 5 億 4,115 万 3,383 円、医業外収益 9,670 万 217 円、合計 6 億 3,785 万 3,600 円となっています。

医業収益は、入院収益 5 億 1,912 万 5,433 円、外来収益 1,717 万 4,763 円、その他医業収益 485 万 3,187 円であり、病院事業収益全体の 84.8%を占めています。

医業外収益は、他会計補助金 8,599 万 2 千円、長期前受金戻入 889 万 1,714 円、その他医業外収益 159 万 6,503 円、補助金 22 万円であり、病院事業収益全体の 15.2%を占めています。

イ 費用

平成 28 年度の病院事業費用は、医業費用 6 億 2,997 万 652 円、医業外費用 1,322 万 3,804 円、合計 6 億 4,319 万 4,456 円となっています。

医業費用は、経費 6 億 632 万 2,566 円、減価償却費 2,364 万 8,086 円であり、病院事業費用全体の 97.9%を占めています。

医業外費用は雑支出が主なものであり、病院事業費用全体の 2.1%を占めています。

ウ 経営比率

比 率 名	算 式	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
経営資本医業利益率(%)	$\frac{\text{医業利益 } \Delta 88,817,269 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 669,026,082 \text{ 円}} \times 100$	△13.28	△4.91	△5.17
経営資本回転率(回)	$\frac{\text{医業収益 } 541,153,383 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 669,026,082 \text{ 円}}$	0.81	0.89	0.94
医業収益医業利益率(%)	$\frac{\text{医業利益 } \Delta 88,817,269 \text{ 円}}{\text{医業収益 } 541,153,383 \text{ 円}} \times 100$	△16.41	△5.50	△5.50

医業利益＝医業収益－医業費用

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

経営資本回転率は、高いほど良く、病院事業では 1.0 回転が平均となっています。

4 むすび

平成 28 年度病院事業決算において、市立総合病院については救命救急センターが通年稼働したことにより収入確保に向けた成果はありましたが、1 億 9,403 万 851 円の純損失額が生じました。

多くの公立病院において、医師不足に伴い、経営環境や医療提供体制の維持が極めて難しい状況の中にあって、市立総合病院は前年度と同様の診療体制を維持しており、また、高度・特殊医療、急性期医療から慢性期医療、第一次救急から第三次救急、救急・小児・周産期等の不採算分野と言われる医療まで、すべての医療を担っているほか、地域医療支援事業にも積極的に取り組んできており、ますます市立総合病院の重要度が高まっています。

患者数は入院・外来ともに前年度より減少していますが、さらなる経営改善の意識を高めると、より一層の患者サービスに努めることを念頭に、地域医療の中核を担う公立病院として、安定的かつ自立的な経営の下で、信頼性の高い医療を提供されることを強く望むものです。

名寄東病院については、平成 28 年度は医療スタッフ総数 91 名の体制で、地域の慢性期医療を担う病院として、高齢社会に対応した長期療養者への医療サービスの提供等、地域にとって欠かすことのできない重要な役割を担っています。

患者数については、入院患者数は前年度より 5.2%減少していますが、外来患者数は新規患者が増となったことに加え、ミニ検診、健康診断等が徐々に増えてきており、前年度より 11.0%の増となっています。ミニ検診や人間ドック等、外来分野についての周知活動も必要と考えます。

老朽化が進んでいる医療機器や施設・設備等の整備については、有利な財源を活用し、計画的に更新を図り、医療サービスの提供と環境の整備に努めていただきたいと思います。

今後も、地域により一層密着した施設として、市内の医療機関はもとより、近隣医療機関との診療情報の連携を密にし、効率的な運営が図られることを強く期待します。

別表(1)

業 務 実 績 表

市立総合病院 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 患者数

ア 年間患者数

区 分	28年度 A (人)	27年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	26年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	101,963	102,475	99.5	96,388	106.3
一 般 病 床	82,975	83,196	99.7	78,707	105.7
精 神 病 床	18,988	19,279	98.5	17,681	109.0
感 染 症 病 床	0	0	—	0	—
外 来	224,953	227,621	98.8	226,575	100.5
一 般 科	195,117	199,103	98.0	199,622	99.7
精 神 科	29,836	28,518	104.6	26,953	105.8

イ 1日平均患者数

区 分	28年度 A (人)	27年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	26年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	279.3	280.0	99.8	264.0	106.1
一 般 病 床	227.3	227.3	100.0	215.6	105.4
精 神 病 床	52.0	52.7	98.7	48.4	108.9
感 染 症 病 床	0.0	0.0	—	0.0	—
外 来	925.8	936.8	98.8	924.8	101.3
一 般 科	803.0	819.4	98.0	814.8	100.6
精 神 科	122.8	117.4	104.6	110.0	106.7

2 患者1人1日当たり平均診療収入金額

区 分	28年度 A (円)	27年度 B (円)	対前年度比 A/B (%)	26年度 C (円)	対前年度比 B/C (%)
入 院	55,720	53,057	105.0	52,534	101.0
外 来	9,878	9,383	105.3	9,366	100.2

3 病床利用率

区 分	28年度 A (%)	27年度 B (%)	対前年度 A-B (%)	26年度 C (%)	対前年度 B-C (%)
入 院	77.8	78.0	-0.2	71.8	+6.2
一 般 病 床 (300床)	75.8	75.8	0.0	71.9	+3.9
精 神 病 床 (55床)	94.6	95.8	-1.2	75.6	+20.2
感 染 症 病 床 (4床)	0.0	0.0	—	0.0	—

東 病 院 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1 患者数

ア 年間患者数

区 分	28年度 A (人)	27年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	26年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	35,224	37,174	94.8	36,951	100.6
医療療養病床	35,224	37,174	94.8	36,951	100.6
外 来	4,018	3,619	111.0	3,986	90.8
内 科	3,943	3,535	111.5	3,777	93.6
脳神経外科	1	26	3.8	25	104.0
リハビリ科	74	58	127.6	184	31.5

イ 1日平均患者数

区 分	28年度 A (人)	27年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	26年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	96.5	101.6	95.0	101.2	100.4
医療療養病床	96.5	101.6	95.0	101.2	100.4
外 来	16.5	14.8	111.5	16.3	90.8
内 科	16.2	14.5	111.7	15.4	94.2
脳神経外科	0.0	0.1	—	0.1	100.0
リハビリ科	0.3	0.2	150.0	0.8	25.0

2 患者1人1日当たり平均診療収入金額

区 分	28年度 A (円)	27年度 B (円)	対前年度比 A/B (%)	26年度 C (円)	対前年度比 B/C (%)
入 院	14,738	15,904	92.7	16,631	95.6
外 来	4,274	4,770	89.6	4,899	97.4

3 病床利用率

区 分	28年度 A (%)	27年度 B (%)	対前年度 A-B (%)	26年度 C (%)	対前年度 B-C (%)
医療療養病床 (105床)	91.9	96.7	-4.8	96.4	+0.3

別表(2)

比較損益計算書 (税抜)

(単位:円・%)

科 目	平成28年度						平成27年度		対前年度増減額
	市立総合病院		東病院		合計		合計		
	金額	対医業 収益比	金額	対医業 収益比	金額	対医業 収益比	金額	対医業 収益比	
医 業 収 益 A	8,417,192,245	100.0	541,153,383	100.0	8,958,345,628	100.0	8,502,390,349	100.0	455,955,279
入 院 収 益	5,681,339,177	67.5	519,125,433	95.9	6,200,464,610	69.2	6,028,202,959	70.9	172,261,651
外 来 収 益	2,221,978,825	26.4	17,174,763	3.2	2,239,153,588	25.0	2,152,940,163	25.3	86,213,425
他 会 計 負 担 金	354,022,000	4.2	0	—	354,022,000	4.0	157,569,000	1.9	196,453,000
そ の 他 医 業 収 益	159,852,243	1.9	4,853,187	0.9	164,705,430	1.8	163,678,227	1.9	1,027,203
医 業 費 用 B	8,954,249,767	106.4	629,970,652	116.4	9,584,220,419	107.0	9,204,952,469	108.3	379,267,950
給 与 費	5,187,853,009	61.6	0	—	5,187,853,009	57.9	4,988,580,828	58.7	199,272,181
材 料 費	2,300,692,693	27.3	0	—	2,300,692,693	25.7	2,069,445,450	24.3	231,247,243
経 費	860,520,573	10.2	606,322,566	112.0	1,466,843,139	16.4	1,501,443,294	17.7	△ 34,600,155
減 価 償 却 費	541,833,461	6.4	23,648,086	4.4	565,481,547	6.3	594,870,099	7.0	△ 29,388,552
資 産 減 耗 費	18,059,125	0.2	0	—	18,059,125	0.2	11,960,427	0.1	6,098,698
交 際 費	1,759,635	0.0	0	—	1,759,635	0.0	1,544,559	0.0	215,076
研 究 研 修 費	43,531,271	0.5	0	—	43,531,271	0.5	37,107,812	0.4	6,423,459
医 業 利 益 A-B=C	△ 537,057,522		△ 88,817,269		△ 625,874,791		△ 702,562,120		76,687,329
医 業 外 収 益 D	724,175,865	8.6	96,700,217	17.9	820,876,082	9.2	742,693,574	8.7	78,182,508
受 取 利 息 配 当 金	127	0.0	0	—	127	0.0	192	0.0	△ 65
他 会 計 補 助 金	38,596,000	0.5	85,992,000	15.9	124,588,000	1.4	70,632,000	0.8	53,956,000
他 会 計 負 担 金	399,824,000	4.8	0	—	399,824,000	4.5	375,427,000	4.4	24,397,000
そ の 他 医 業 外 収 益	41,512,040	0.5	1,596,503	0.3	43,108,543	0.5	45,718,225	0.5	△ 2,609,682
補 助 金	77,231,400	0.9	220,000	0.0	77,451,400	0.9	84,824,802	1.0	△ 7,373,402
受 託 料	9,653,580	0.1	0	—	9,653,580	0.1	9,934,257	0.1	△ 280,677
負 担 金 交 付 金	83,547,358	1.0	0	—	83,547,358	0.9	73,859,380	0.9	9,687,978
保 育 施 設 収 益	14,260,771	0.2	0	—	14,260,771	0.2	12,805,887	0.2	1,454,884
長 期 前 受 金 戻 入	59,550,589	0.7	8,891,714	1.6	68,442,303	0.8	69,491,831	0.8	△ 1,049,528

医 業 外 費 用 E	375,278,686	4.5	13,223,804	2.4	388,502,490	4.3	376,035,604	4.4	12,466,886
支払利息及び企業債取扱諸費	68,898,102	0.8	113,426	0.0	69,011,528	0.8	73,834,931	0.9	△ 4,823,403
保 育 施 設 費	36,329,380	0.4	0	—	36,329,380	0.4	30,654,430	0.4	5,674,950
雑 支 出	270,051,204	3.2	13,110,378	2.4	283,161,582	3.2	271,546,243	3.2	11,615,339
医 業 外 利 益 D-E=F	348,897,179		83,476,413		432,373,592		366,657,970		65,715,622
経 常 利 益 C+F=G	△ 188,160,343		△ 5,340,856		△ 193,501,199		△ 335,904,150		142,402,951
特 別 利 益 H	37,855,544	0.4	0	—	37,855,544	0.4	207,214,178	2.4	△ 169,358,634
過年度損益修正益	35,855,544	0.4	0	—	35,855,544	0.4	9,303,178	0.1	26,552,366
そ の 他 特 別 利 益	2,000,000	0.0	0	—	2,000,000	0.0	197,911,000	2.3	△ 195,911,000
特 別 損 失 I	43,726,052	0.5	0	—	43,726,052	0.5	82,876,287	1.0	△ 39,150,235
過年度損益修正損	37,858,212	0.4	0	—	37,858,212	0.4	65,776,287	0.8	△ 27,918,075
そ の 他 特 別 損 失	5,867,840	0.1	0	—	5,867,840	0.1	17,100,000	0.2	△ 11,232,160
当 年 度 純 利 益 G+H-I=J	△ 194,030,851		△ 5,340,856		△ 199,371,707		△ 211,566,259		12,194,552

別表(3)

比較貸借対照表

(単位：円・%)

科 目		借 方								対前年度増減額
		平成 28 年 度				平成 27 年 度				
		市立総合病院		東 病 院		合 計		合 計		
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
資 産 の 部	固 定 資 産	9,189,014,207	85.2	430,376,510	64.3	9,619,390,717	84.0	9,808,692,268	85.5	△ 189,301,551
	有 形 固 定 資 産	9,037,297,284	83.8	413,265,230	61.8	9,450,562,514	82.5	9,658,071,462	84.2	△ 207,508,948
	土 地	664,115,118	6.2	112,000,000	16.7	776,115,118	6.8	776,115,118	6.8	0
	建 物	7,075,252,890	65.6	255,128,839	38.1	7,330,381,729	64.0	7,366,369,454	64.2	△ 35,987,725
	構 築 物	181,476,988	1.7	0	—	181,476,988	1.6	196,588,404	1.7	△ 15,111,416
	機 器 備 品	1,092,648,506	10.1	46,123,512	6.9	1,138,772,018	9.9	1,268,299,893	11.1	△ 129,527,875
	車 両	4,125,840	0.0	12,879	0.0	4,138,719	0.0	5,102,574	0.0	△ 963,855
	リ ー ス 資 産	19,677,942	0.2	0	—	19,677,942	0.2	33,052,780	0.3	△ 13,374,838
	建 設 仮 勘 定	0	—	0	—	0	—	12,543,239	0.1	△ 12,543,239
	無 形 固 定 資 産	55,648,923	0.5	17,111,280	2.6	72,760,203	0.6	64,542,806	0.6	8,217,397
	ソ フ ト ウ ェ ア	55,648,923	0.5	17,111,280	2.6	72,760,203	0.6	64,542,806	0.6	8,217,397
	投 資	96,068,000	0.9	0	—	96,068,000	0.8	86,078,000	0.8	9,990,000
	長 期 貸 付 金	96,068,000	0.9	0	—	96,068,000	0.8	86,078,000	0.8	9,990,000
	流 動 資 産	1,591,639,872	14.8	238,649,572	35.7	1,830,289,444	16.0	1,660,577,865	14.5	169,711,579
現 金 及 び 預 金	193,043,645	1.8	149,779,695	22.4	342,823,340	3.0	202,350,281	1.8	140,473,059	
未 収 金	1,372,199,419	12.7	88,869,877	13.3	1,461,069,296	12.8	1,424,976,131	12.4	36,093,165	
有 価 証 券	500,000	0.0	0	—	500,000	0.0	500,000	0.0	0	
貯 蔵 品	25,896,808	0.2	0	—	25,896,808	0.2	32,751,453	0.3	△ 6,854,645	
資 産 合 計	10,780,654,079	100.0	669,026,082	100.0	11,449,680,161	100.0	11,469,270,133	100.0	△ 19,589,972	

		貸 方										
科 目		平成 28 年 度						平成 27 年 度		対前年度増減額		
		市立総合病院		東 病 院		合 計		合 計				
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比			
負 の 部	固 定 負 債	7,209,518,146	66.9	53,439,833	8.0	7,262,957,979	63.4	7,601,588,422	66.3	△ 338,630,443		
	企 業 債	5,787,916,146	53.7	53,439,833	8.0	5,841,355,979	51.0	6,183,221,973	53.9	△ 341,865,994		
		建設改良の財源に充てるための企業債	5,656,313,142	52.5	53,439,833	8.0	5,709,752,975	49.9	6,054,194,747	52.8	△ 344,441,772	
		そ の 他 の 企 業 債	131,603,004	1.2	0	—	131,603,004	1.1	129,027,226	1.1	2,575,778	
		リ ー ス 債 務	0	—	0	—	0	—	2,786,449	0.0	△ 2,786,449	
		引 当 金	1,421,602,000	13.2	0	—	1,421,602,000	12.4	1,415,580,000	12.3	6,022,000	
		退職給付引当金	1,421,602,000	13.2	0	—	1,421,602,000	12.4	1,415,580,000	12.3	6,022,000	
		流 動 負 債	1,784,003,633	16.5	7,955,573	1.2	1,791,959,206	15.7	1,598,245,833	13.9	193,713,373	
		一 時 借 入 金	300,000,000	2.8	0	—	300,000,000	2.6	0	—	300,000,000	
		企 業 債	737,170,521	6.8	7,595,473	1.1	744,765,994	6.5	703,351,554	6.1	41,414,440	
			建設改良の財源に充てるための企業債	734,015,525	6.8	7,595,473	1.1	741,610,998	6.5	701,778,780	6.1	39,832,218
			そ の 他 の 企 業 債	3,154,996	0.0	0	—	3,154,996	0.0	1,572,774	0.0	1,582,222
		リ ー ス 債 務	2,786,449	0.0	0	—	2,786,449	0.0	14,247,994	0.1	△ 11,461,545	
		未 払 金	445,179,609	4.1	360,100	0.1	445,539,709	3.9	584,640,729	5.1	△ 139,101,020	
		引 当 金	262,831,630	2.4	0	—	262,831,630	2.3	261,531,745	2.3	1,299,885	
			賞 与 引 当 金	221,592,051	2.1	0	—	221,592,051	1.9	224,196,117	2.0	△ 2,604,066
			法定福利費引当金	41,239,579	0.4	0	—	41,239,579	0.4	37,335,628	0.3	3,903,951
		預 り 金	36,035,424	0.3	0	—	36,035,424	0.3	34,473,811	0.3	1,561,613	
		繰 延 収 益	1,158,242,837	10.7	253,625,405	37.9	1,411,868,242	12.3	1,478,574,437	12.9	△ 66,706,195	
		長 期 前 受 金	1,158,242,837	10.7	253,625,405	37.9	1,411,868,242	12.3	1,478,574,437	12.9	△ 66,706,195	
		受 贈 財 産 評 価 額	1,022,044	0.0	250,414,213	37.4	251,436,257	2.2	260,198,551	2.3	△ 8,762,294	
		寄 附 金	6,771,618	0.1	0	—	6,771,618	0.1	9,480,293	0.1	△ 2,708,675	
		補 助 金	759,557,326	7.0	3,211,192	0.5	762,768,518	6.7	800,328,550	7.0	△ 37,560,032	
		他 会 計 負 担 金	390,891,849	3.6	0	—	390,891,849	3.4	408,567,043	3.6	△ 17,675,194	
	負 債 合 計	10,151,764,616	94.2	315,020,811	47.1	10,466,785,427	91.4	10,678,408,692	93.1	△ 211,623,265		

資本の部	資	本	金	5,920,764,362	54.9	36,503,250	5.5	5,957,267,612	52.0	5,596,212,612	48.8	361,055,000										
		自	己	資	本	金	5,920,764,362	54.9	36,503,250	5.5	5,957,267,612	52.0	361,055,000									
			固	有	資	本	金	16,135,320	0.1	0	—	16,135,320	0.1	0								
			繰	入	資	本	金	5,718,577,000	53.0	36,503,250	5.5	5,755,080,250	50.3	361,055,000								
			組	入	資	本	金	186,052,042	1.7	0	—	186,052,042	1.6	0								
		剰		余		金	△ 5,291,874,899	△ 49.1	317,502,021	47.5	△ 4,974,372,878	△ 43.4	△ 4,805,351,171	△ 41.9	△ 169,021,707							
		資	本	剰	余	金	376,726,395	3.5	112,200,000	16.8	488,926,395	4.3	458,576,395	4.0	30,350,000							
				受	贈	財	産	評	価	額	15,696,054	0.1	112,000,000	16.7	127,696,054	1.1	127,696,054	1.1	0			
				寄	附		金	19,243,533	0.2	200,000	0.0	19,443,533	0.2	9,093,533	0.1	10,350,000						
				補	助		金	61,529,201	0.6	0	—	61,529,201	0.5	61,529,201	0.5	0						
				他	会	計	負	担	金	280,257,607	2.6	0	—	280,257,607	2.4	260,257,607	2.3	20,000,000				
		利	益	剰	余		金	△ 5,668,601,294	△ 52.6	205,302,021	30.7	△ 5,463,299,273	△ 47.7	△ 5,263,927,566	△ 45.9	△ 199,371,707						
				前	年	度	未	処	分	利	益	剰	余	金	△ 5,474,570,443	△ 50.8	210,642,877	31.5	△ 5,263,927,566	△ 46.0	△ 5,052,361,307	△ 44.1
			当	年	度	純	利	益	△ 194,030,851	△ 1.8	△ 5,340,856	△ 0.8	△ 199,371,707	△ 1.7	△ 211,566,259	△ 1.8	12,194,552					
	資	本	合	計			628,889,463	5.8	354,005,271	52.9	982,894,734	8.6	790,861,441	6.9	192,033,293							
	負	債	・	資	本	合	計	10,780,654,079	100.0	669,026,082	100.0	11,449,680,161	100.0	11,469,270,133	100.0	△ 19,589,972						

総収益・総費用比較表

(単位：円・%)

科 目	平成28年度						平成27年度		対前年度増減額
	市立総合病院		東病院		合 計		合 計		
	金 額	対総収益比	金 額	対総収益比	金 額	対総収益比	金 額	対総収益比	
総 収 益	9,179,223,654	100.0	637,853,600	100.0	9,817,077,254	100.0	9,452,298,101	100.0	364,779,153
医 業 収 益	8,417,192,245	91.7	541,153,383	84.8	8,958,345,628	91.3	8,502,390,349	90.0	455,955,279
医 業 外 収 益	724,175,865	7.9	96,700,217	15.2	820,876,082	8.4	742,693,574	7.9	78,182,508
特 別 利 益	37,855,544	0.4	0	—	37,855,544	0.4	207,214,178	2.2	△ 169,358,634
総 費 用	9,373,254,505	102.1	643,194,456	100.8	10,016,448,961	102.0	9,663,864,360	102.2	352,584,601
給 与 費	5,187,853,009	(55.3)	0	(0.0)	5,187,853,009	(51.8)	4,988,580,828	(51.6)	199,272,181
材 料 費	2,300,692,693	25.1	0	—	2,300,692,693	23.4	2,069,445,450	21.9	231,247,243
経 費	860,520,573	9.4	606,322,566	95.1	1,466,843,139	14.9	1,501,443,294	15.9	△ 34,600,155
減 価 償 却 費	541,833,461	5.9	23,648,086	3.7	565,481,547	5.8	594,870,099	6.3	△ 29,388,552
資 産 減 耗 費	18,059,125	0.2	0	—	18,059,125	0.2	11,960,427	0.1	6,098,698
交 際 費	1,759,635	0.0	0	—	1,759,635	0.0	1,544,559	0.0	215,076
研 究 研 修 費	43,531,271	0.5	0	—	43,531,271	0.4	37,107,812	0.4	6,423,459
支払利息及び企業債取扱諸費 (うち一時借入金利息)	68,898,102 (1,080,547)	0.8	113,426 (0)	0.0	69,011,528 (1,080,547)	0.7	73,834,931 (495,342)	0.8	△ 4,823,403 (585,205)
そ の 他	306,380,584	3.3	13,110,378	2.1	319,490,962	3.3	302,200,673	3.2	17,290,289
特 別 損 失	43,726,052	0.5	0	—	43,726,052	0.4	82,876,287	0.9	△ 39,150,235
当 年 度 純 利 益	△ 194,030,851	△ 2.1	△ 5,340,856	△ 0.8	△ 199,371,707	△ 2.0	△ 211,566,259	△ 2.2	12,194,552

※総収益比欄の()内の数値は、給与費の総費用に占める割合です。

経営・財務分析表

1 収益率 (収益と費用とを対比して病院事業経営の成果を表すもので、その比率は大きいほど良好である。)

$$(1) \text{総収支比率} (\%) = \frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$$

総収支比率は、総収益を上げるのに、どれだけの費用がかかったかの割合を示すもので、この率が100%未満であれば純損失を生じており、経営の安定が損なわれていることを示す。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	97.93	97.53	77.45
東 病 院	99.17	101.62	100.18

$$(2) \text{経常収支比率} (\%) = \frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$$

経常収支比率は、経常費用(医業費用+医業外費用)が経常収益(医業収益+医業外収益)によってどの程度賄われているかを示す指標。100%未満であれば経常損失が生じている。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	97.98	96.12	96.36
東 病 院	99.17	101.62	100.18

$$(3) \text{医業収支比率} (\%) = \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

医業収支比率は、医業事業によってもたらされた医業収益と、それに要した医業費用とを対比して医業事業の能率効果測定を判断するもので、経営の良否がうかがえる。この比率は高いほど良好である。通常100%以上あればよい。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	94.00	92.19	91.00
東 病 院	85.90	94.79	94.79

2 財務比率 (貸借対照表における資産と負債又は資本との相互関係を表すものである。)

$$(1) \text{固定比率} (\%) = \frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$$

固定比率は、自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。病院事業の場合は、建設投資のための財源として企業債に依存する割合が高いため、必然的にこの比率が高くなっている。固定比率が100%を超えていても、固定長期適合率(固定資産対長期資本比率)が100%を下回っていれば、長期的な資本の枠内の投資が行われているということで、必ずしも不健全な状態とはいえないとされている。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	514.18	568.19	619.94
東 病 院	70.83	71.93	74.77

(2) 固定長期適合率(%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$$

固定資産の調達、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から少なくとも100%以下であることが望ましく、100%を超えた場合は、固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	102.14	101.81	99.59
東 病 院	65.10	66.19	68.69

(3) 流動比率 (%)

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

流動比率は、一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	89.22	89.56	102.68
東 病 院	2,999.78	3,325.08	203,333.72

(4) 当座(酸性試験)比率 (%)

$$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$$

流動資産のうち現金預金と容易に現金化しうる未収金が、流動負債100%以上に確保されているか否かを示すもので、当座の支払能力の有無を判断する目安となる。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	87.74	87.47	100.58
東 病 院	2,999.78	3,325.08	203,333.72

3 回転率、回転期間 (回転率は、企業の活動性を示すもので、これらの比率は大きいほど資本が効率的に使われていることを表すものである。)

(1) 自己資本回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2}$$

自己資本回転率は、自己資本に対する医業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の医業収益があったかを示すものである。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	4.90	4.96	4.97
東 病 院	0.88	0.98	1.02

(2) 固定資産回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$$

固定資産回転率は、企業の取引量である医業収益と設備資産に投下された資本の関係で、設備利用の適否をみるためのものである。回転率が高い場合は、施設が有効に稼働していることを示す。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	0.91	0.84	0.77
東 病 院	1.23	1.34	1.43

(3) 流動資産回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$$

流動資産回転率は、現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。高いほど運用形態がよい。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	5.58	5.40	2.76
東 病 院	2.28	2.72	3.07

(4) 未収金回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2}$$

未収金回転率は未収金の回収速度を示す。高ければ回収が早く、未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。これが6回とすれば、未収金はほぼ2ヵ月で回収されていることを示す。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	6.24	6.12	5.53
東 病 院	5.53	5.66	5.69

(5) 当年度減価償却率 (%)

$$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$$

当年度減価償却率は、減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することによって、いかなる減価償却政策をとっているかを明らかにするもので、固定資産に投下された資本の回収状況を見るためのものである。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	6.04	6.23	6.01
東 病 院	6.91	6.62	4.05

4 構成比率 (構成部分の全体に対する関係を表すものである。)

(1) 固定資産構成比率 (%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$$

固定資産構成比率は、資産合計 (固定資産+流動資産+繰延資産) の固定資産の割合を表すものである。減価償却費に近い額が固定資産取得のために借り入れた企業債の償還に充てられることにより、そのまま企業内部へ資金が留保される率も低く、固定資産構成比率は高くなっている。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	85.24	86.79	86.41
東 病 院	64.33	65.51	68.68

(2) 固定負債構成比率 (%)

$$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$$

固定負債構成比率は、総資本中、固定負債が占める割合を示す。事業の負担構成の適正化を判断するもので、比率は小さいほど良好である。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	66.87	69.97	72.83
東 病 院	7.99	7.88	8.13

$$(3) \text{自己資本構成比率 (\%)} = \frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$$

資本構成の安定度をみる指標。施設建設費の財源の多くを企業債により調達しているため、この比率は低くなる傾向にあるが、事業経営の安定化を図るためには、この比率を高めていくことが重要である。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	16.58	15.27	13.94
東 病 院	90.82	91.08	91.85

5 その他

$$(1) \text{累積欠損金比率 (\%)} = \frac{\text{累積欠損金}}{\text{医業収益}} \times 100$$

企業活動において、各事業年度に欠損金が生じた場合、剰余金等により補填するわけであるが、それでも補填できない欠損金については、翌年度以降に繰り越すことになる。これら累積された赤字額を累積欠損金という。累積欠損金には減価償却費等の実際に現金支出がない費用も含まれているため、直接経営に必要な資金不足を表すものではないが、より一層の収益性の向上を図ることが求められる。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	67.35	69.35	70.02
東 病 院	△37.94	△ 34.60	△ 31.53

$$(2) \text{資金不足比率 (\%)} = \frac{\text{(流動負債+建設改良等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高-流動資産) - 解消可能資金不足額}}{\text{事業規模 (医業収益-受託工事収益)}} \times 100$$

資金不足比率は、資金不足額を事業規模で除した割合。流動負債とは支払期日が1年以内に訪れる負債のことで、流動資産とは1年以内に換金が可能な預金・未収金等である。この比率が経営健全化基準である20%以上になると経営健全化計画を定めなければならない。

年 度	28年度	27年度	26年度
市立総合病院	△8.07	△ 8.62	△ 11.96
東 病 院	△44.03	△ 38.65	△ 33.32

市立総合病院の資金不足比率は△8.07%、東病院の資金不足比率は△44.03%となり、ともに資金不足は発生していません。

キャッシュ・フロー計算書内訳

(単位：円)

	市立総合病院	東 病 院	平成28年度合計	平成27年度合計	対前年度増減額
(1) 業務活動によるキャッシュ・フロー					
当期純利益	△ 194,030,851	△ 5,340,856	△ 199,371,707	△ 211,566,259	12,194,552
減価償却費	541,833,461	23,648,086	565,481,547	594,870,099	△ 29,388,552
長期前受金戻入額	△ 59,550,589	△ 8,891,714	△ 68,442,303	△ 69,491,831	1,049,528
支払利息及び企業債取扱諸費	68,898,102	113,426	69,011,528	73,834,931	△ 4,823,403
固定資産除却損	12,124,792	0	12,124,792	5,630,968	6,493,824
固定資産売却益	0	0	0	0	0
その他非資金項目の調整	29,231,108	0	29,231,108	23,544,296	5,686,812
未収金の増減額 (△は増加)	△ 50,731,532	18,078,066	△ 32,653,466	△ 64,074,427	31,420,961
未払金の増減額 (△は減少)	△ 5,301,360	142,164	△ 5,159,196	52,007,506	△ 57,166,702
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,854,645	0	6,854,645	△ 2,597,949	9,452,594
引当金の増減額 (△は減少)	3,041,186	0	3,041,186	△ 178,326,056	181,367,242
預り金の増減額 (△は減少)	1,561,613	0	1,561,613	1,669,918	△ 108,305
その他資産負債の増減額	0	0	0	0	0
小計	353,930,575	27,749,172	381,679,747	225,501,196	156,178,551
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 68,898,102	△ 113,426	△ 69,011,528	△ 73,834,931	4,823,403
業務活動によるキャッシュ・フロー	285,032,473	27,635,746	312,668,219	151,666,265	161,001,954
(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー					
固定資産の取得による支出	△ 519,758,106	△ 6,746,500	△ 526,504,606	△ 341,508,085	△ 184,996,521
固定資産の売却による収入	0	0	0	0	0
寄附金の受入	10,350,000	0	10,350,000	200,000	10,150,000
他会計負担金の受入	21,875,000	0	21,875,000	22,091,000	△ 216,000
国庫・道補助金の受入	621,000	0	621,000	648,000	△ 27,000
修学資金貸付による支出	△ 45,150,000	0	△ 45,150,000	△ 38,510,000	△ 6,640,000
修学資金貸付返還金による収入	6,010,000	0	6,010,000	6,550,000	△ 540,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 526,052,106	△ 6,746,500	△ 532,798,606	△ 350,529,085	△ 182,269,521
(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー					
一時借入金による収入	1,000,000,000	0	1,000,000,000	400,000,000	600,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 700,000,000	0	△ 700,000,000	△ 400,000,000	△ 300,000,000
企業債による収入	395,700,000	7,200,000	402,900,000	429,700,000	△ 26,800,000
企業債の償還による支出	△ 696,486,860	△ 6,864,694	△ 703,351,554	△ 718,547,971	15,196,417
他会計からの出資による収入	361,055,000	0	361,055,000	371,647,000	△ 10,592,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	360,268,140	335,306	360,603,446	82,799,029	277,804,417
資金増加額 (又は減少額)	119,248,507	21,224,552	140,473,059	△ 116,063,791	256,536,850
資金期首残高	73,795,138	128,555,143	202,350,281	318,414,072	△ 116,063,791
資金期末残高	193,043,645	149,779,695	342,823,340	202,350,281	140,473,059

別表 (7)

医療費未収金 (患者負担分)

(市立総合病院)

区 分 \ 年 度	平 成 28 年 度		平 成 27 年 度	
	現 年 度	過 年 度	現 年 度	過 年 度
調 定 額 (円)	842,777,170	82,960,626	807,227,642	80,525,364
収 入 済 額 (円)	779,177,100	54,611,031	740,420,484	49,017,435
収 入 率 (%)	92.45	65.83	91.72	60.87
収 入 未 済 額 (円)	63,600,070	28,349,595	66,807,158	31,507,929
不 納 欠 損 額 (円)	123,280	2,120,193	0	2,506,785

(東病院)

区 分 \ 年 度	平 成 28 年 度		平 成 27 年 度	
	現 年 度	過 年 度	現 年 度	過 年 度
調 定 額 (円)	52,235,732	4,667,703	54,098,473	4,207,390
収 入 済 額 (円)	47,768,743	4,156,490	49,718,150	3,920,010
収 入 率 (%)	91.45	89.05	91.90	93.17
収 入 未 済 額 (円)	4,466,989	511,213	4,380,323	287,380
不 納 欠 損 額 (円)	0	0	0	0

医業収益に対する費用項目の比率

(市立総合病院分)

(単位：%)

区 分	平成 28 年 度		平成 27 年 度	
	5 病院平均値	名 寄 市	5 病院平均値	名 寄 市
総 費 用	116.2	111.4	115.1	114.1
医業費用	111.1	106.4	109.7	108.5
職員給与費	53.9	57.2	51.8	59.8
材 料 費	26.5	27.3	27.4	26.2
減価償却費	8.9	6.4	9.2	7.2
その他医業費用	21.9	15.4	21.3	15.3
医業外費用	4.8	4.5	5.3	4.6
支 払 利 息	1.2	0.8	1.3	0.9
その他医業外費用	2.7	3.6	2.9	3.7
特別損失	0.2	0.5	0.2	1.1
純 利 益	△5.1	△2.3	△2.9	△2.8

《 5 病院平均値 》

類似規模の 5 市立病院（岩見沢市、苫小牧市、稚内市、江別市、砂川市）平均値

《 職員給与費 》

本表の職員給与費比率は、給与費（退職手当費、児童手当及び報酬は含まない）／医業収益で算出し、別表(4)の給与費比率は給与費（退職手当費、児童手当及び報酬を含む）／総収益で算出しています。